

2026 年度大学院入学試験（専門科目）出題意図

科目名	人的資源管理論
問題	
<p>(1) 日本企業における人材育成の方法としての、OJT, Off-JT, 自己啓発についてその内容を記述し、OJT の課題について記述しなさい（全体で 400 字程度）。</p> <p>(2) 近年の日本企業では、全員一律の教育研修からの脱却を図るため、様々な制度を導入している。この中の、選択型研修と選抜型研修について、その内容を記述したのち、この二つの研修によって、どのような能力を持った従業員を企業が育てることにつながるかについて、その内容を記述しなさい（全体で 600 字程度）。</p>	
出題意図	
<p>(1) (2) を通して、日本の従来の人材育成の方法から、近年の人材育成の方法への変化についての網羅的理解を問うている。</p> <p>(1) は OJT, Off-JT, 自己啓発という従来 of 日本企業における人材育成の三本柱ともいえる内容を問うた。さらに、OJT の課題について論述し、日本企業が現場主義の偏重によって、日本企業の人材育成が近視眼的な内容に陥る可能性を指摘することを目的とする。</p> <p>(2) は、(1) における OJT の問題点であった近視眼的な人材育成を打破するために、選択型研修の理解を通じて、個人のキャリア自律を促すことを目的とすることを把握し、選抜型研修によって、特に、企業のコアとなる人材である経営職の育成をより早い時期に行うことを把握してもらおう。選択型研修は、多様な人材の育成を可能にし、選抜型研修は、より早期に本人の職種の方角性を明示することになるため、メリハリのある人材育成投資が可能になることを指摘してほしい。</p>	